

<p>社外活動による効果と社外活動のはじめかた・育てかた</p>
<p>Go Beyond: Contribute to Software Community, and growth by Software Community</p>
<p>福田 里奈 fukuda@fusic.co.jp 事業推進部</p>
<p>発表要旨：</p> <p>1.はじめに 今回発表する社外活動とは、業務以外の社外の勉強会やシンポジウム、学習を指している。社外活動についての効果や工夫点について発表する。</p> <p>2.実施概要 社外で勉強する環境を作る。社内外で出た問題を共有した。勉強会に他地域の方に講師としてお招きし、様々なジャンルの勉強会を開催した。</p> <p>3.効果 勉強会に参加した社員がテストや品質に対する価値を意識するようになった。 テストをおこなうときに、多面的に見ることができるようになったことが、チケットの起票からわかった。</p> <p>4.おわりに 社外活動に参加するだけでなく、運営者として登壇者として参加したことを共有することで多面的にフィードバックすることができた。</p>
<p>キーワード： モチベーション・コミュニケーション、地域活性化</p>
<p>想定している聴衆 社外活動をうまく現場に展開できない方、同僚に社外の勉強会やシンポジウムに参加してもらえない方、社外活動に参加したいと思っているが、時間や場所、お金、家庭の事情で参加できない方</p>
<p>発表者の紹介（全角100文字）： 2008年（株）Fusicに従事。 NPO 法人ソフトウェアテスト技術振興協会(ASTER)個人正会員。 九州ソフトウェアテスト勉強会主宰。 2014年よりソフトウェアテストシンポジウム九州実行委員長に就任。</p>

* 副題は不要であれば行ごと削除してください

社外活動による効果と 社外活動のはじめかた・育てかた

株式会社Fusic
事業推進部

○福田 里奈

e-mail : fukuda@fusic.co.jp

もくじ

- ＞ はじめに
- ＞ 社外活動でおこなったこと
- ＞ 社外活動の効果
- ＞ 社外活動のはじめかた、育てかた
- ＞ おわりに

自己紹介

＞ 福田 里奈

＞ 現職：

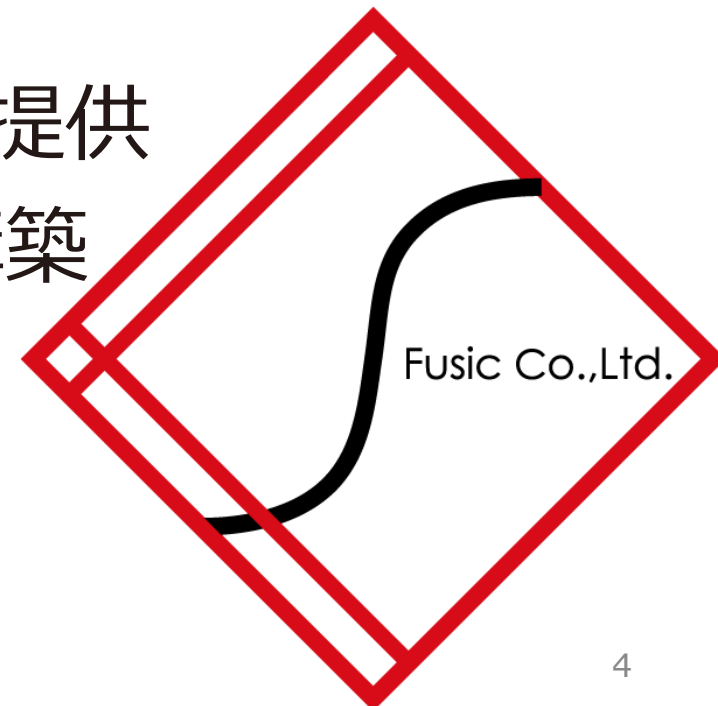
- ＞ 株式会社Fusic（フュージック） 本社：福岡市
- ＞ システムテスト、社内受け入れテストを一人でおこなっている
- ＞ テスト規模：数日～数カ月

＞ 社外活動

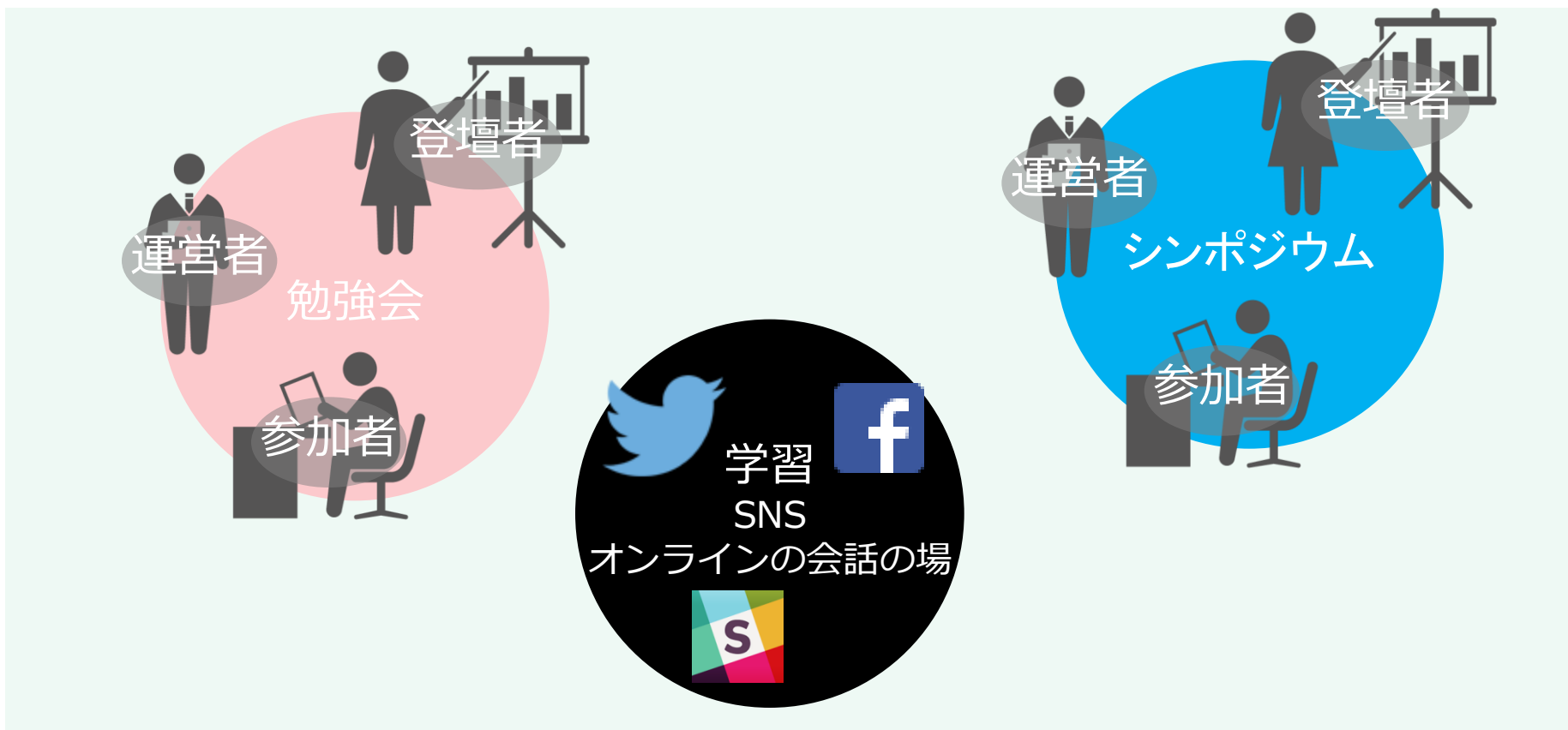
- ＞ NPO法人ソフトウェアテスト技術振興協会（ASTER）会員
- ＞ ソフトウェアシンポジウム（JaSST）九州 実行委員長
- ＞ 九州ソフトウェアテスト勉強会 主宰
- ＞ 探索的テスト研究会

Fusicについて

- Webシステム・アプリケーション開発
 - 業務系Webシステム
 - 新規事業開発におけるITパートナー
 - IoT開発
- 自社サービス開発および提供
- AWSクラウドインフラ構築



社外活動/勉強会/シンポジウム



- > 今回発表する社外活動とは、業務以外で活動することを指す
- > 各活動で、参加者・運営者・登壇者をしている

背景：こんな声はありませんか？

- ＞ 社外活動をうまく社内に展開できていない
- ＞ 部下や同僚にもっと社外に出てもらいたいが、効果が見えづらく乗ってもらえない
- ＞ 参加したいと思う勉強会に制約があり、参加できない
- ＞ 地方の事業所の社員にも社外活動に積極的になって欲しいが、そもそも開催されていない



運営者

勉強会を3年間おこなった結果

- 2003年5月に開始して3年間で以下の人数に成長した
 - 勉強会メンバー（FaceBookグループ登録人数）**253**人
 - 実施した勉強会参加者のべ人数**258**人
 - 実施する勉強会は安定して**10**人以上の参加者が集まるようになった。
(社内からの参加者については後述)

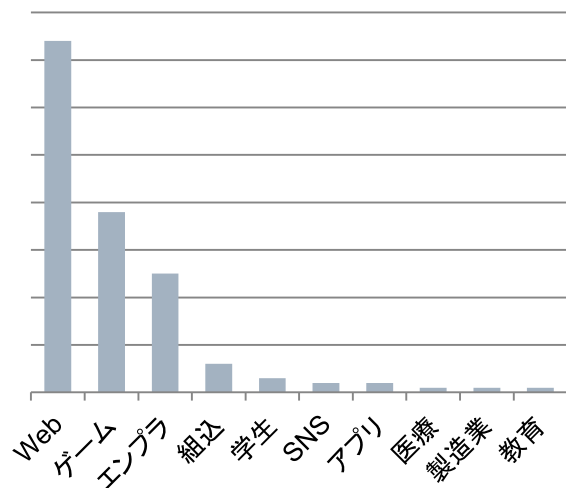
社外活動でおこなったこと



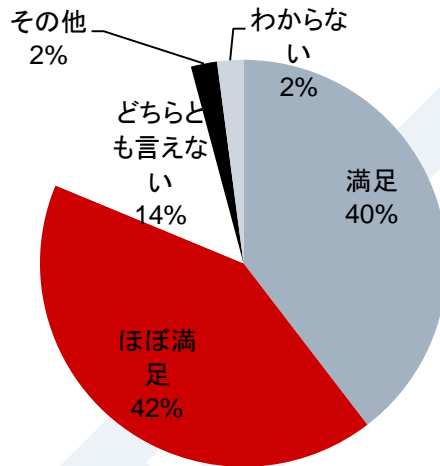


勉強会実施後アンケート

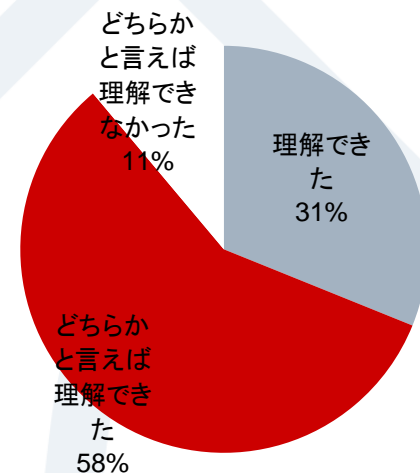
業種



内容について



内容は理解できましたか



- ゲーム・WEBの参加者が多い
- 多くの方が満足している
- 理解しやすい内容を提供できた

大切にしているポイント

- ＞ ポジティブに
 - ＞ (ネガティブな発言に人はついてこない。楽しいからこそ人は興味が沸き、集まる)
- ＞ オンライン公開できるものはする
 - (広く知られることで、次につながる、遠くの地域にも参考になることが多い)
- ＞ はやく
 - ＞ (知見のある人や教えてくれる人は大抵自分より忙しい。自己都合でお待たせしないように即座に対応する)

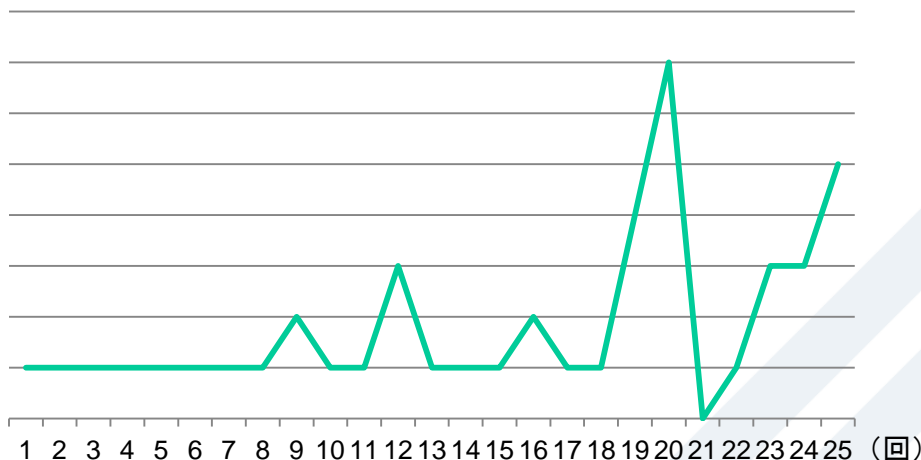




運営者

社内のソフトウェアテストの興味

社内参加人数推移



- 各地から講師が来ることで参加人数が増えている
- 様々な種類にすることで参加人数が増えている

各回のタイトル

- 事例紹介 & 座談会～
- PictMasterを使ってみよう～
- タイトルなし
- ～@gen519さんSpecial～
- テスコン連覇者に学ぶ
- アンカンファレンス
- 電通大 西康晴氏をお迎えして
- バグチケットによるバグ分析をしてみよう
- タイトルなし
- 適切な品質モデルの使い方 -北の国から'14-
- オレオレ流JSTQB FL勉強術
- マインドマップでテスト設計
- 沖縄開催スペシャル!!!
- 電通大 西康晴氏と考えるテスト設計
- Appiumに関するワークショップ
- はじめてのテスト講座
～初心者向けソフトウェアテストのお話～
- 新卒エンジニア向けQAレクチャー & バグ擬人化
- 広島でソフトウェアテストの勉強会
- テストでの知見を次のレビューで活かすために
- ～SaPID問題モデリングワーク in 福岡～
- 「つながる世界のソフトウェア品質ガイド」
- ～TDD/BDD実践者のテストアーキテクトに聞け～
- ～Startup.Retrospective～
- ～探索的テスト～
- はじめてのテスト講座
～初心者向けソフトウェアテストのお話～

社内参加者の効果

- ＞ 新しい観点への意識が向上した
 - ＞ テスターが担当する部分とエンジニアが担保する部分と切り分ける
 - ＞ ユーザビリティ
 - ＞ 使いやすさ、言葉の妥当性、デザイン
 - ＞ 問題解決への意識が向上した
- ＞ 文言に対する意識が向上した
 - ＞ “当然”のレベルが会社や個人によって異なることに気づいた
 - ＞ 用語に対する曖昧さ回避
 - ＞ 命名規則の取り決め
 - ＞ 用語集の作成

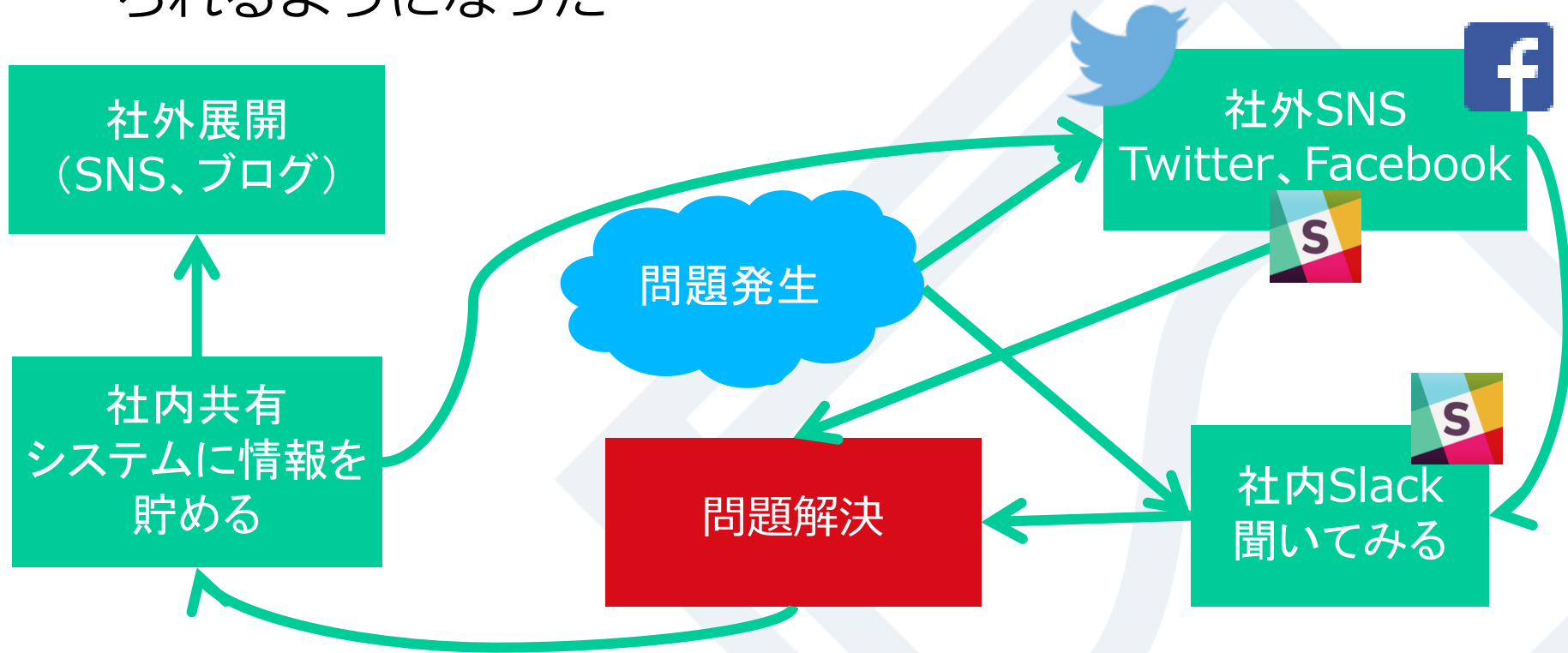


社内へのフィードバック

- ＞ 登壇することにより、多くの方からフィードバックをいただく機会が増えた。
 - ⇒フィードバックの内容を展開することにより社内評価が向上した
- ＞ 聴講したプレゼンのテクニックやマインドを自分なりに工夫して登壇ができるようになった。
 - ⇒会社の宣伝効果

ツールを使って問題解決のループ

- ＞ SNSを使うことにより、常に色々な方からの知見を得られるようになった



- ＞ 不満→解決することでポジティブに考えられるようになった
 - ＞ 社外の事例に共有することで「私たちもやれるかも」と思うことが増えた

ツールを使って問題解決のループ (実例)



マイヤーズの三角形問題を勉強会ですらよーって言ったら、思ったより色々大変だということを教えてもらって深かったときの話

<http://togetter.com/li/843768>

社外セミナー

はじめてのソフトウェアテスト

はじめてのテスト講座
～初心者向けソフトウェアテストのお話～
in Fusic
2016.06.15
@__rina__

社内新人教育をして欲しい

「新入社員にテストについての研修をして欲しい。」と言われてたら、どんなことについて教えますか??

<https://www.facebook.com/groups/Testing.Qshu/permalink/830149713739128/>

問題解決

社内新人教育

文章チェック能力の向上

- ＞ レポーターをすることにより、文章チェックをしていただく機会を得た。



⇒業務での日本語も意識するようになった

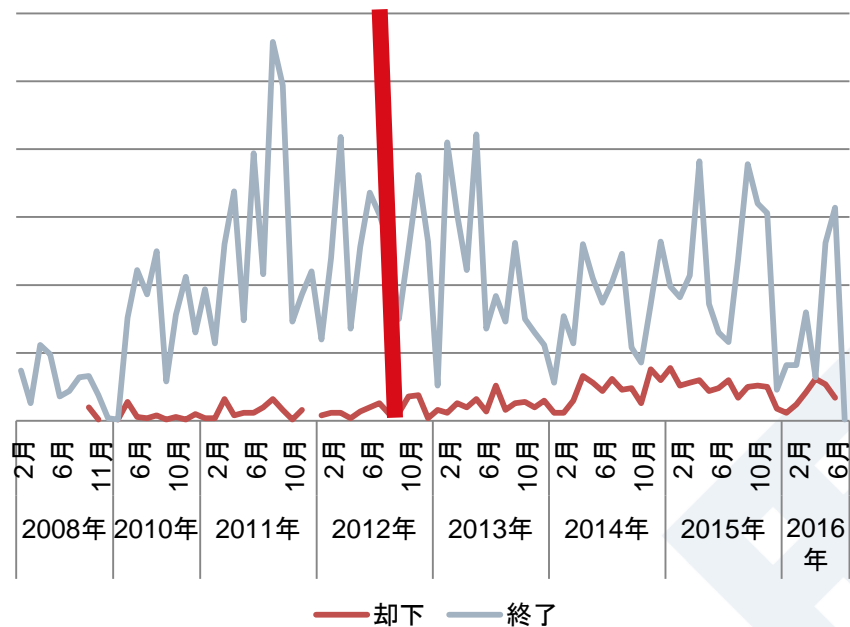
バグ起票のルール化

- ＞ URLを記載
- ＞ スクリーンショットと、スクリーンショットにハイライト表示、コメントを入れる
- ＞ 本文には**改善策、提案内容**を記載
- ＞ エンジニアに納得してもらうために、**意図や説明**をいれる

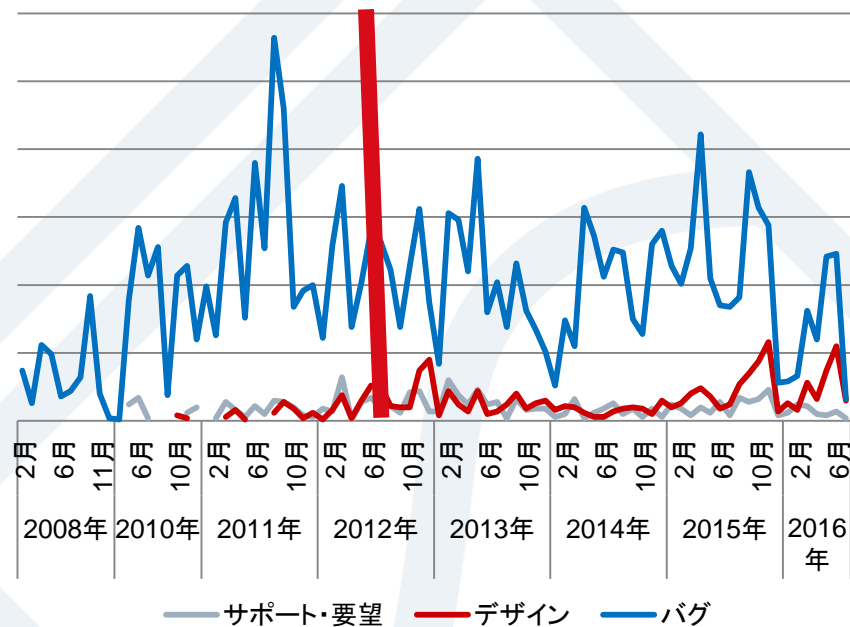
社外活動後のチケット起票数の推移

- システムを多面的に見るようになった

チケット数の推移



指摘種類の推移



※データは複数の案件のチケット数を集計

- 社外活動をはじめた2012年秋頃から、デザインの指摘が増えているが、却下されるチケットも増えた

社外活動ができない原因と解決策(1)

＞ 活動資金がない

- ＞ 会社に出資（参加費の補助）してもらおう、会場提供してもらおう
- ＞ NPO法人のレポーターとして参加する
- ＞ 発表者として登壇することで招待してもらおう
- ＞ オンラインでできるようにする

＞ 子どもが小さくて夜外出できない

- ＞ 自宅でもできるようにオンラインでおこなう
- ＞ 子どもが就寝したあとの時間におこなう
- ＞ 子連れ参加可能とする

社外活動ができない原因と解決策(2)

- ＞ 一緒に勉強する仲間がいない
 - ＞ オンラインで勉強会に参加させてもらう
 - ＞ Twitterなどでオンラインでもディスカッションできるようにする
 - ＞ 勉強会を作り運営することで、仲間が増える

- ＞ 地域に活動がない
 - ＞ まず、FaceBookグループを作る（地域も参加しやすく、地域外の参加も可能）
 - ＞ 実際に勉強会を実施する
 - ＞ オンラインで遠方の勉強会を中継する
 - ＞ 知見のある技術者に勉強会に参加してもらう
 - ＞ 知見のある技術者に勉強会の講師として呼び出す

実施結果

- ＞ 同じような悩みを持つ仲間を見つけて、そのお手伝いや知見を伝えることで、問題を解決する
- ＞ オンラインで遠方の勉強会を中継する
- ＞ 遠方の人にも知ってもらえるため、出張時や旅行時に勉強会に登壇・参加してもらえるようになった
- ＞ 「問題解決」や「改善活動」、「レビュー」など幅広い分野の勉強の機会になった

今後の課題

- ＞ 種類や原因を記録することで、チケットの分析をより詳しくする
- ＞ テストに関する情報を私以外の人も主体的に情報を得る工夫
 - ＞ 「テストに関することは福田さんが社外から情報を流してくれる」と私に任せきりになっているところがありそう
 - ＞ 公開した資料についての関心が薄い
- ＞ 運営が一人に偏っているため、個々でも勉強会を開催できる環境の整備

まとめ

- ＞ 参加者・運営・登壇と社外活動を様々な形でおこなうことで、社内にフィードバックすることができる
- ＞ 社内参加者を増やすことで、様々な観点で開発に役立つことができる
- ＞ 社外活動は無理なくはじめられる